

『標的の村』『戦場ぬ止み』『標的の島 風かたか』『沖縄スパイ戦史』

三上智恵監督 新作ドキュメンタリー 製作開始

長編ドキュメンタリー映画 | 2024年春完成予定

三上智恵 監督最新作

いくさば

『沖縄、再び戦場へ』(仮)

スピンオフ作品〈45分〉



okinawakiroku.com



(C)三上智恵

『沖縄、再び戦場へ』(仮) スピンオフ作品上映会

10月22日(日)

14:00~15:30

(開場 13:30)

会場 戦争と平和の資料館 ピースあいち
1階 交流のひろば

参加無料 事前申し込み(定員40名)
電話でお申し込みください。TEL.052-602-4222

主催 ピースあいちボランティア有志 &
次世代交流チーム

戦争と平和の資料館 ピースあいちでは、毎年、6月23日沖縄慰霊の日を中心に「沖縄展」を開催しています。一昨年からは、「沖縄から平和を考える—ウチナーとヤマトの架け橋に」と題し、準常設展として、琉球王国から近代沖縄への「世替わり」がもたらした史実、第二次大戦中の沖縄戦のこと、米軍基地とそこから生まれた戦後沖縄の抱えてきた問題などを紹介しています。

今年の「沖縄展」(2023/5/16~7/8)はそれらに加え、このところ急速に進められている「南西諸島軍事要塞化」実態のパネルを展示しました。沖縄の現状を見ることによって、日本の安全保障や防衛予算の大幅増を、自分のこととして考えたかったからです。

開催期間中には、映画『沖縄スパイ戦史』上映会(2018年 監督:三上智恵×大矢英代 114分 沖縄戦におけるゲリラ戦やスパイ戦を取り上げたドキュメンタリー映画)や、「沖縄慰霊の日」講演会と沖縄戦体験の語り継ぎを行いました。

このたび、三上智恵監督が制作しておられるドキュメンタリー映画『沖縄、再び戦場へ(仮)』を応援したいと、『沖縄、再び戦場へ(仮)』スピンオフ作品上映会を開催することにしました。阪井芳貴さん(名古屋市立大学名誉教授・美ら島沖縄大使・ピースあいち理事)のレクチャーもあります。

ぜひご参加ください。

『標的の村』『戦場ぬ止み』『標的の島 風かたか』『沖縄スパイ戦史』
三上智恵監督 新作ドキュメンタリー 製作開始
長編ドキュメンタリー映画 | 2024年春完成予定

三上智恵 監督最新作

『沖縄、再び戦場へ』^{いくさば} (仮)

スピノフ作品〈45分〉

三上 智恵 監督からのメッセージ

2013年『標的の村』、2015年『戦場ぬ止み』、2017年『標的の島 風かたか』、2018年『沖縄スパイ戦史』。私が5年に4本の映画を矢継早に世に出したのは、沖縄が戦争に利用され県民が苦しみ続ける歴史をなんとかしても変えたかったからです。しかし高江も辺野古も基地建設を止められず、南西諸島に次々と自衛隊のミサイル基地が置かれ、沖縄の軍事要塞化は加速度的に進みました。「再び沖縄戦」の危機がリアルに迫る今、それを止められるのは、公開までに時間を要するドキュメンタリー映画ではないのでは?と悩んだ時期もありました。それでもこの5年、ズルズルと戦争への道に引きずり込まれていく沖縄の記録を、悶々としながらも撮りためていました。

ある会合で、それらの映像を無造作に並べて見たときに、私も、会場の方々も胸がつぶれて言葉を失いました。勝てない闘いばかりを記録してきた敗北感は大きい。しかし、それとはまた別の感情も生まれてきたのです。それは、それでもこの映像を見たいと思ってくれる方々と繋がっていく中で立ち上がる「何か」であり、記録された人々がここにいない人たちに伝えたい「何か」です。

それを形にする仕事を、この一年、必至にやってみようと決意するに至りました。3月にミサイル基地が開設される石垣島、新たにミサイル部隊が来ることになり全島避難も取りざたされる与那国島、南西諸島ミサイル戦略の司令部になる勝連分屯地を抱えるうるま市…。新作の主な舞台はこのあたりになると思われます。

すでに戦争が始まっているような危機感が一向に全国に共有されていない中で、新作を作りながら、同時に伝えて行く仕事もしたいと思っています。どうか皆さん、一緒に伴走してください。カンパのご協力をお願いするとともに、スピノフ作品(無料)をみんなで見て、この危機を周りの人たちの共有する場を作りながら、次の作品を待っていただけませんか。

必死にあらがう沖縄の人々の映像が、全国に平和の細胞分裂を促していく。そう思うと、私は勇氣100倍できょうも現場に立つことができます。全国の皆さん、どうぞよろしくお願いいたします!

2023年3月 三上 智恵